

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	産業間連携促進事業		
事業担当	産業振興部 産業振興課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'01	①〈持続可能〉産業の発展を持続させる	
	'01	1 産業の持続的な発展に向けて、基本的な理念と戦略を確立する	
根拠法令等			
対象・受益者	市内の事業者	事業期間	平成24年度 ~
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
産業間の交流が盛んになり、まちがにぎわっています。		産業界、関係機関等から構成する産業活性化会議により、本市の産業活性化に向けた環境整備を促進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	産業活性化会議の開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	5	5	5		
	実績	4	5	2		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	新商品等開発件数			単位	件
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	3	5	5		
	実績	5	4	5		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	③：遅れている					
	遅れている理由	特定課題に対する会議等を実施したが、活性化会議に諮る段階ではなかったため。				
平成27年度の主な取組と成果						
産業間連携を促進するため、市内の各産業界代表者や学識経験者等で組織する「平塚市産業活性化会議」を2回開催するとともに、諸課題を解決するため、各プロジェクトチームにおいて引き続き検討、実証実験等を行いました。事業者の取組を支援するためのセミナーの開催、6次産業化・地産地消法や中小企業地域資源活用促進法の認定事業者及び新事業・新商品開発の取組を検討している事業者に対し、商品開発や販路拡大などの支援(5件)を引き続き実施しました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	産業界、関係機関等で構成する会議体を設置し、産業間連携を促進することは、本市の産業活性化にとって必要性が高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	これまでの連携の取組みを促進し活発化させていくためにも、産業間連携を促進する体制を継続して維持することは有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	産業界、関係機関等で構成する会議体での協議は、産業活性化を促進していくために有益であり、提案された施策に取り組んでいく妥当性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	産業活性化に向け提案された施策を進めていく際には、産業界関係団体が関わっていくため、効果的・効率的に取り組めます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 産業関係団体と連携し、産業間連携に取り組む事業者等に対する販路開拓や拡大、広報などの支援を、より効果的に実施していく必要があります。また、新規に立ち上げる(仮)平塚市産業間連携ネットワークの周知方法や事業者の参画について、各産業界と調整していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		協議会の開催、提案された施策や事業の取組み促進	協議会の開催、提案された施策や事業の取組み促進	産業活性化会議の開催、提案された施策や事業の取組み推進
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	963	603	236
事業費 (A)		963	603	236
執行率 (%)		75.18	57.65	52.33

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 「平塚市産業活性化会議」や産業活性化セミナーの開催のほか、新商品の開発や新事業の創出に取り組む事業者のプロジェクトチームに対しネットワークによる支援を充実させていきます。
課長コメント 各産業の団体や事業者との連携のもと、行政や大学等が支援する体制を充実し、産業活性化策を具現化するとともに、支援を通じた新たな産業分野への進出や地域ブランドの創出を促進するため、引き続き事業を行う必要があります。